

# 平成25年3月期（第16期） 第1四半期決算説明会

平成24年8月8日

## 株式会社Jストリーム

※当資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。



# 連結決算ハイライト P/L

	25. 1Q (構成比)		増減率	24. 1Q (構成比)	
売上高	1,230,905	100%	+6.5%	1,156,104	100%
売上原価	787,628	64.0%	+2.3%	770,265	66.6%
売上総利益	443,276	36.0%	14.9%	385,838	33.4%
販売費及び一般管理費	392,438	31.9%	△8.5%	428,896	37.1%
営業利益	50,838	4.1%	—	△43,058	—
経常利益	65,913	5.4%	—	△34,321	—
税金等調整前四半期純利益	65,913	5.4%	—	△50,116	—
四半期純利益	56,792	4.6%	—	△53,257	—

## 内的要因

- ◆ 人員数減少に伴い各種経費削減  
(採用数削減、グループ内人員異動による合理化推進)
- ◆ 内製率アップで原価率改善。

## 市場環境

- ◆ オンデマンド配信: 単価下落圧力続く
- ◆ ライブ配信への需要が旺盛
- ◆ スマートフォン案件の引き合いが増加

- ◆ 前年度に震災影響があったこともあるが売上、利益共に相当水準の改善を達成。

# 連結バランスシート

		25. 1Q末	主な変動要因	24年度末	24. 1Q末	
資産の部	流動資産	2,719,950	現預金 +251 売掛金 Δ279	2,706,916	2,499,390	
	固定資産	797,276		802,447	806,435	
	有形固定資産	270,827		288,557	295,708	
	無形固定資産	338,232		323,303	299,450	
	投資その他の資産	188,215		190,586	211,276	
資産合計		3,517,226		3,509,364	3,305,825	
負債の部	流動負債	607,905		645,722	620,532	
	固定負債	120,024		133,116	160,154	
純資産の部	株主資本	資本金	2,182,379	資本剰余金 146,343千円 を振替し、繰越利益剰余金 を欠損補填  今期4～6月末までは 買い付けせず	2,182,379	2,182,379
		資本剰余金	626,241		772,584	772,584
		利益剰余金	Δ67,482		Δ270,569	Δ483,477
		自己株式	Δ100,663		Δ100,663	Δ78,707
	評価・換算差額等計	Δ292	Δ154		Δ166	
	少数株主持分	149,115	146,949		132,524	
	純資産合計	2,789,296	2,730,526		2,525,138	
負債・純資産合計		3,517,226		3,509,364	3,305,825	

◆4Qの売上が大きいことから前期末対比売掛金減少、現預金増加。

(単位:千円)

◆資本政策の機動性確保の観点からその他資本剰余金を取り崩し欠損填補(Jストリーム単体)

(※25. 1Q構成比率順 単位:千円)

	25. 1Q (構成比)		増減率	備考	24. 1Q (構成比)	
労務費	336,594	42.7%	+1.3%	人的費用の合計 591百万円 (前年度: 580百万円 対比+2.0%)	332,392	43.2%
外注費	206,367	26.2%	+11.6%		185,002	24.0%
通信費	77,838	9.9%	△6.1%		82,895	10.8%
ロイヤリティ	54,454	6.9%	△21.3%		69,221	9.0%
業務委託手数料	47,612	6.0%	△36.1%		74,524	9.7%
地代家賃	20,723	2.6%	+4.7%	連結従業員数 24年6月末 318名(335名)	19,786	2.6%
保守料	16,860	2.1%	△17.0%	個別従業員数(子会社 への出向者除) 24年6月末 188名(194名) (())内は23年6月末)	20,313	2.6%
ソフトウェア償却	14,974	1.9%	△2.5%		15,350	2.0%
賃借料	13,533	1.7%	△32.0%		19,888	2.6%
減価償却費	12,583	1.6%	△4.3%		12,054	1.6%
その他及び 他勘定振替	△13,910	1.8%	—		△61,160	—
売上原価合計	787,628		前年比 +2.3%		770,265	前年比 +1.9%

◆大口案件の終了に伴い外部委託が減少。

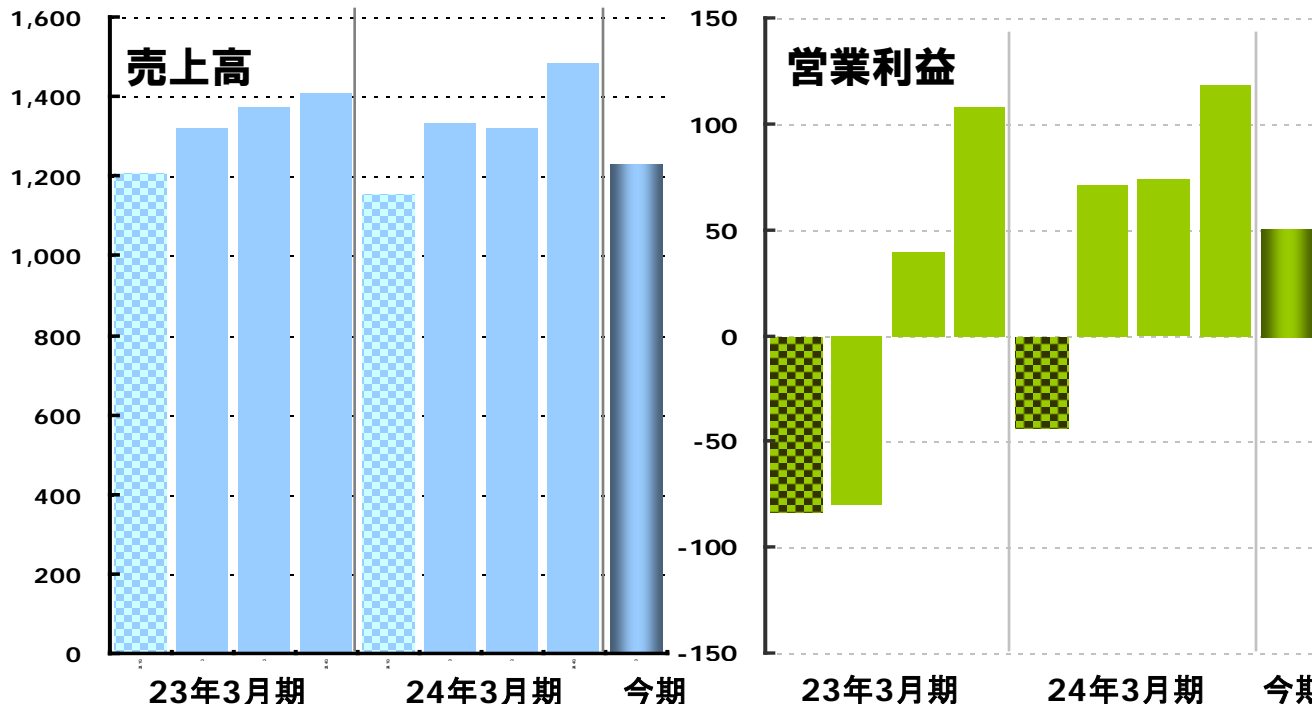
# 販売費及び一般管理費主要項目（連結）

	25. 1Q (構成比)		増減率	備考	24. 1Q (構成比)	
	金額	比率			金額	比率
人件費	218,908	55.8%	△10.5%	営業サポートの 時間減少により減少	244,469	57.0%
販売支援費	37,112	9.5%	△35.9%		57,914	13.5%
支払手数料	14,857	3.8%	+3.4%		14,367	3.4%
地代家賃	14,329	3.7%	△4.9%	イベント出展等により 増加。前年度は震災 影響あり少額。	15,068	3.5%
販売促進費・広告宣伝費	12,280	3.1%	+34.1%		9,159	2.0%
システム管理費	10,113	2.6%	58.7%		6,372	1.5%
業務委託手数料	9,868	2.5%	50.5%		6,558	1.5%
旅費交通費	9,698	2.5%	48.9%		6,513	1.5%
株式関係費	8,984	2.3%	△5.4%	海外案件あり	9,496	2.2%
研究開発費	8,812	2.2%	△26.2%	開発進行に伴い 原価となる部分が 拡大	11,944	2.8%
その他(求人費、雑費等)	47,471	12.0%	—		47,036	11.0%
販売費及び一般管理費 合計	392,438		△8.5%		428,896	前年度対比 △20.1%

- ◆ 人件費の減少は、人員純減分によるものもあるが、原価への振替によるものが大きい。
- ◆ 営業サポート時間の減少により販売支援費が大幅減少。

(単位:百万円)

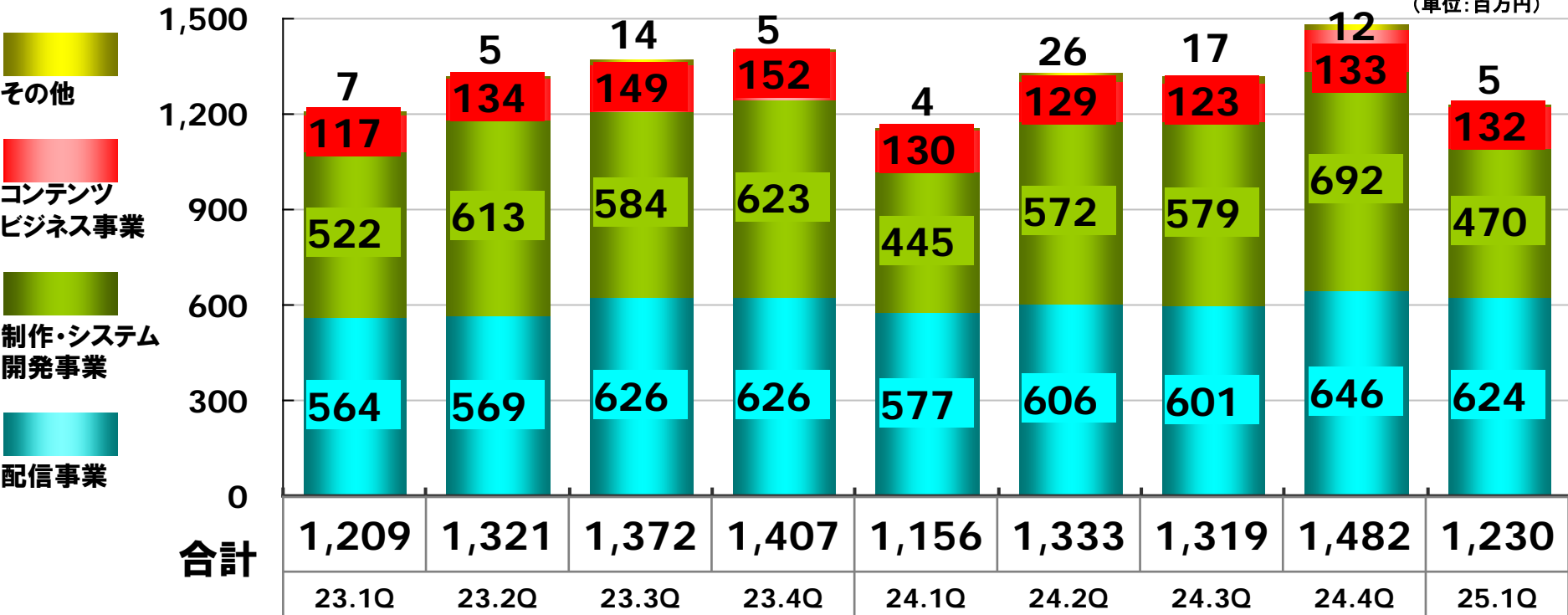
# 四半期別売上、利益推移(連結)



◆ 各種経費節減が奏功、第1四半期としては平成21年3月期以来の営業利益計上。

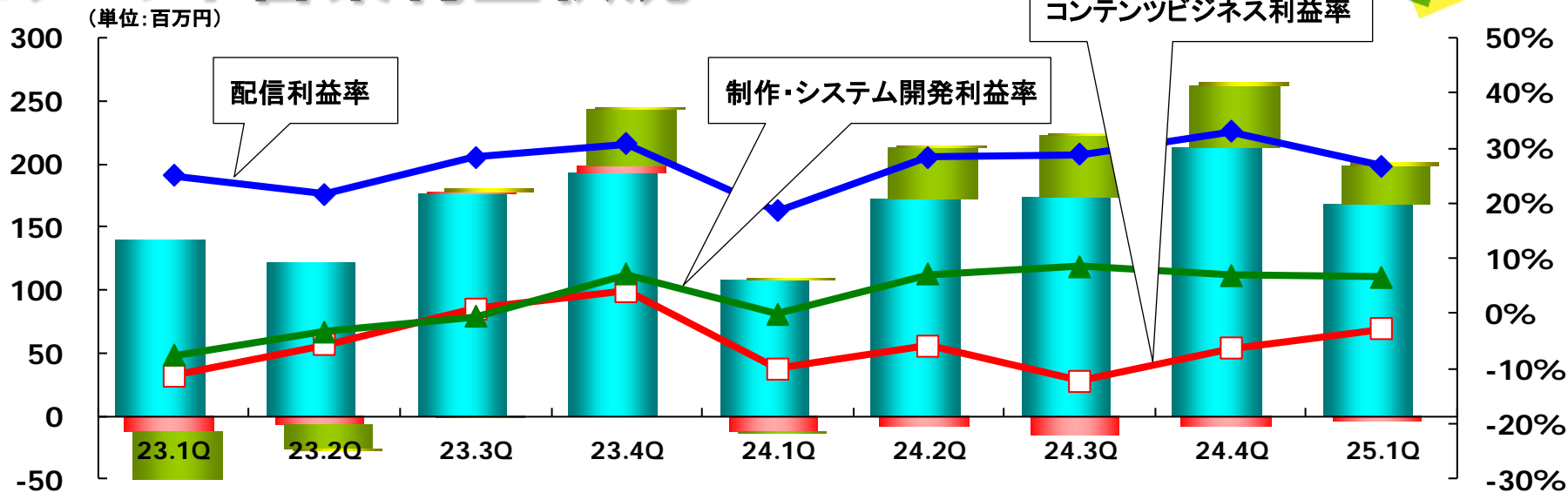
	23.1Q	23.2Q	23.3Q	23.4Q	24.1Q	24.2Q	24.3Q	24.4Q	25.1Q
売上高	1,209	1,321	1,372	1,407	1,156	1,333	1,319	1,482	1,230
営業利益	△83	△79	39	108	△43	71	73	117	50
純利益	△120	△122	30	△427	△53	66	63	83	56
売上高	2,530		2,779		2,489		2,801		
営業利益	△161		147		28		191		
純利益	△243		△396		12		146		

# セグメント別売上状況



- ◆ **配信:** ライブ案件が好調であり売上増に貢献。オンデマンド配信についても売上は保っているが単価の下落が進んでおり件数でカバー。フィーチャーフォン向けサービスは減少が続いており、スマートフォン向けがそれを補う要素として成長中だが、現時点ではスマートフォン向けだけでフィーチャーフォン分を補う水準にはないため、SecureCast Plus等スマホ向けサービスアプリケーションの拡充を続けている。
- ◆ **制作:** 大口CP案件の運用収入や、映像制作子会社のスポット案件等が増加要因となるが、モバイル向け制作を行っていた子会社の業態転換(売上減)に伴い前年比での売上増加の幅は大きくない。
- ◆ **コンテンツビジネス:** 子会社の物販売上が順調で増加。Jストリーム本体が実施していた消費者向けサービスの事業形態を変更した(今後配信売上に計上)ことにより減少要因となり、本セグメントのみの昨年同期比ではほぼ同水準。

# セグメント営業利益状況

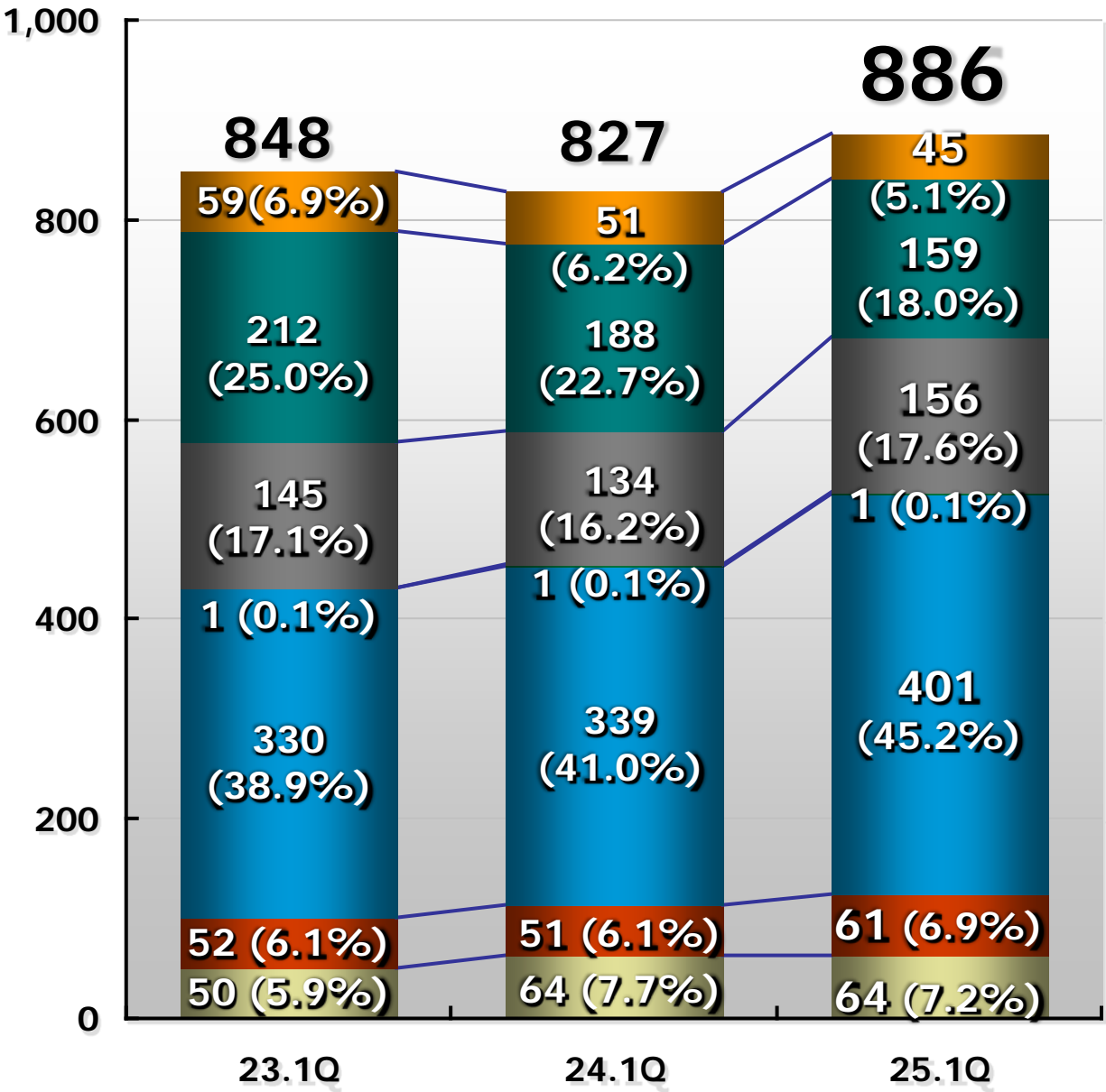


配信	140	122	177	193	107	172	173	213	167
	25.0%	21.7%	28.5%	30.8%	18.6%	28.4%	28.8%	33.0%	26.8%
制作	△39	△20	△2	44	△0	40	49	48	31
	△7.6%	△3.3%	△0.5%	7.1%	△0.1	7.1%	8.6%	7.0%	6.7%
コンテンツ ビジネス	△13	△7	1	6	△13	△7	△15	△8	△4
	△11.4%	△5.7%	0.9%	4.0%	△10.0%	△5.9%	△12.2%	△6.3%	△2.8%

- ◆ 配信: ライブ案件が好調であり売上増に貢献する一方、採算の低い大口案件の終了、サーバー等の削減、ライセンス量減少等により前年同期比で利益率は改善。
- ◆ 制作: 制作系子会社の人員縮小、外注案件の減少により利益率改善。
- ◆ コンテンツビジネス: 物販の利益率は高くなく赤字続く。顧客サイトのスマートフォン対応を進め利益率改善を図る。

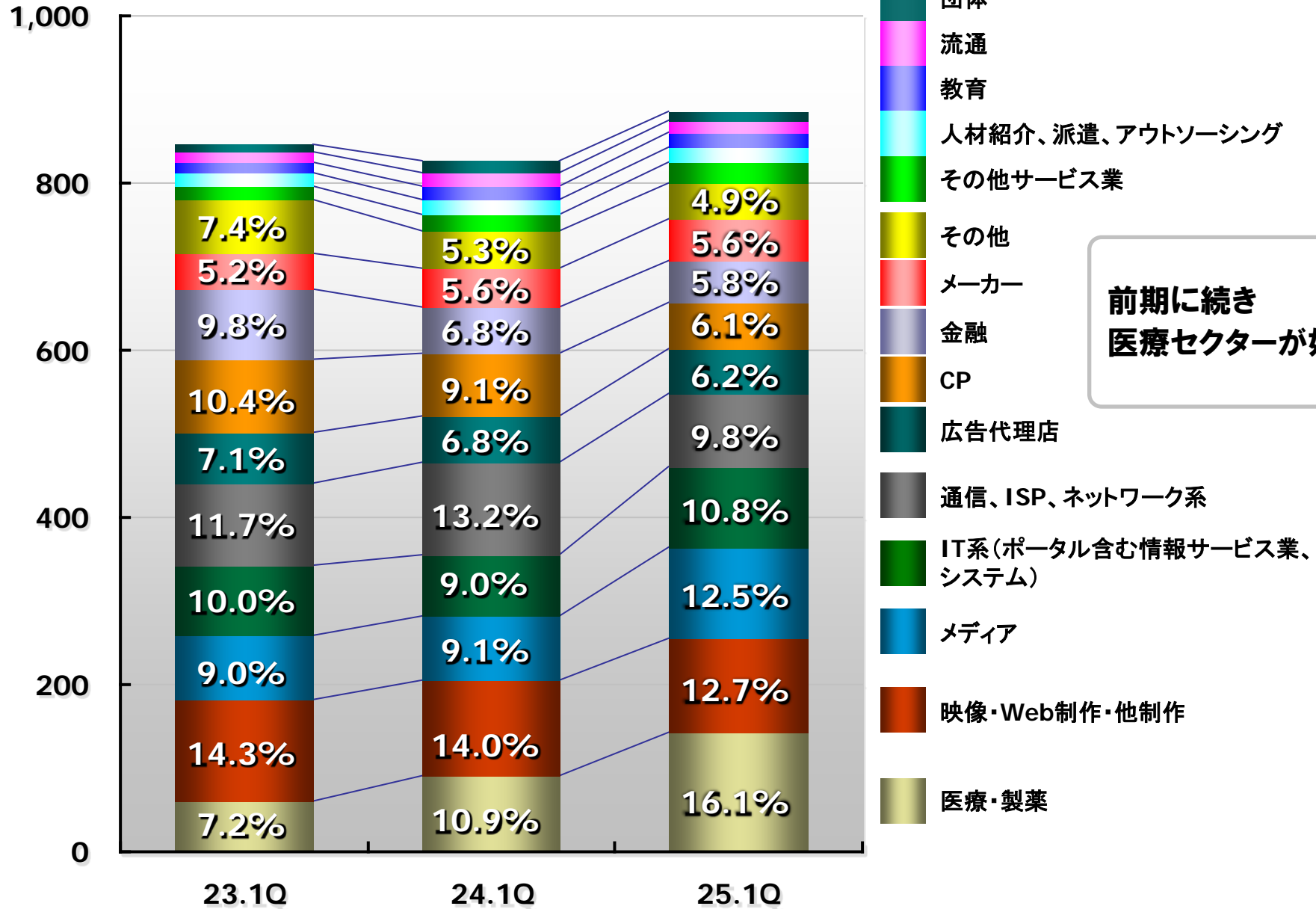


# 用途別売上比率 (個別)



- 増減率**
- その他  $\Delta$ 12.5%
  - エンターテインメント(音楽/映画/娯楽/スポーツ)  $\Delta$ 15.5%
  - 番組/放送局 +16.3%
  - ストリーミング広告 +13.2%
  - 販促(商品紹介/CM/セミナー/イベント) +18.1%
  - 採用/教育/研修 +20.0%
  - 会社案内/IR +0.7%

# 業種別売上比率（個別）



**前期に続き  
医療セクターが好調**

# 設備投資状況

もっと素敵な伝え方を。



(単位:百万円)

	投資項目	実施額 (年間予定額)
25年 3月期	<ul style="list-style-type: none"> <li>■配信事業関連 38 (303)                      新サービス関連、サーバー増設・リプレース、                      その他サービス改善のための投資                      運用系システム開発、IPv6対応設備導入 等</li> <li>■制作・システム開発事業関連 4 (31)                      キャプチャー・ファイルサーバーシステム、エンコーダー 等</li> <li>■管理系 5 (40)                      会計系システム、人事系システム、業務支援システム</li> </ul>	<p style="font-size: 2em; margin: 0;">47</p> <p style="font-size: 3em; margin: 0;">(374)</p>

# 最近のトピックス

もっと素敵な伝え方を。



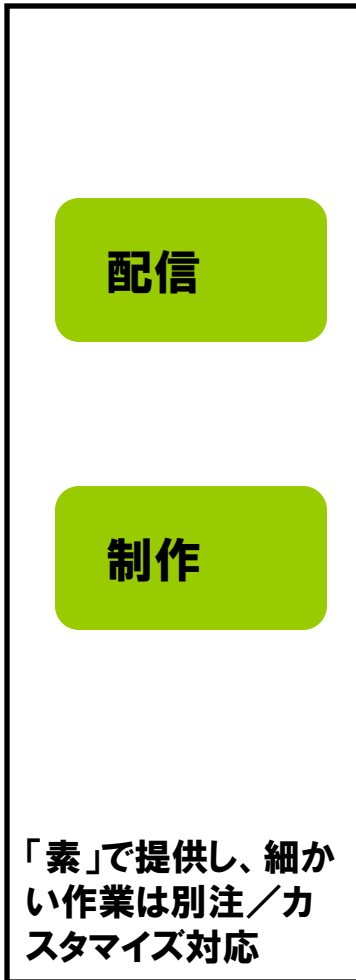
# 中期に目指すJストリーム像

## クロスデバイスに対応した 動画マーケティングサービスの展開に注力し、 動画配信にまつわる企業のマーケティング活動を サポートする企業

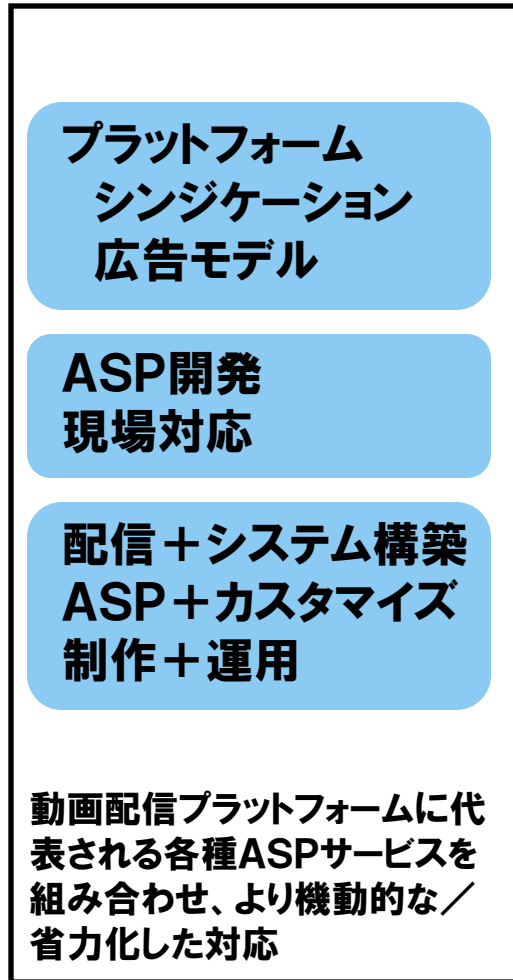
- ◆ ネットワークに接続される各種端末に対して、複数の端末をスムーズに使い分ける事を前提としたサービスを展開する。
  - 複数の端末を使い分ける人たちの便利さを追求する
  - そのサービスを提供する人たちの運営を楽にする

# 中期計画の展開

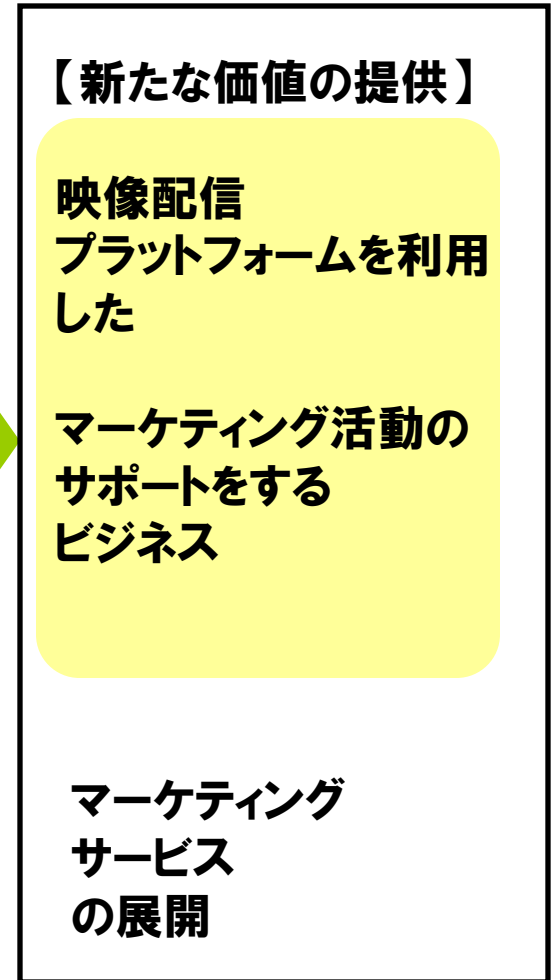
## 従来のサービススタイル



## 過渡期（現在）



## 将来像



# 最近のトピックス

## ◆ ブライトコープ社サービス (オンラインビデオプラットフォーム)の 販売を終了

ブライトコープ株式会社とのBrightcove Video Cloudサービスの販売代理店契約を8月をもって終了し、また同社との合併契約を解消する方向で協議中。

当社独自サービスの展開を優先する趣旨。

合併契約を終了し当社が保有するブライトコープ社の株式についても譲渡予定で協議中。

## ◆ スマートフォン向け動画広告配信 サービス「mobile DADA」に ついて、アプリ制作と、アプリ内 のCM動画配信およびエンコード

株式会社アサツー ディ・ケイの新サービスであるスマートフォン向け動画広告配信サービス「mobile DADA」について、アプリ制作と、アプリ内のCM動画配信(CDN)およびエンコードを担当。

「mobile DADA」は、『スマートフォンユーザーがCMを見て、視聴ポイントを貯め、現金や商品などと交換ができる』無料アプリを活用した広告配信サービスです。ユーザーのスマートフォン上に『CMというリッチコンテンツを提供し、確実に視聴された分だけが課金される』という効率の良いマーケティング活動を行うことが可能。



# 最近のトピックス

## ◆「サントリードリームマッチ 2012 in 東北」の様相をマルチデバイスにライブ配信

8月6日に日本製紙クリネックススタジアム宮城(宮城県仙台市)で開催される「サントリードリームマッチ 2012 in 東北」において、PC及びスマートフォン向けライブ配信を担当。(ライブエンコード及び配信を実施。)

Jストリームは2009年より、同イベントのライブ中継を担当。

2010年にはiPhone

今年はAndroid端末向けのライブ中継も実施。

## ◆企業サイト向けに動画の制作・活用方法をわかりやすく解説した冊子『15万円でゼロから始める動画マーケティング』を作成



動画マーケティングを自社に取り入れたい、より進めていきたい企業向けに、動画コンテンツの特性、動画撮影・配信の流れ、PDCAのまわし方、先進的な4事例とモバイル端末向け配信など今後の動画マーケティング動向などについて紹介。

# 業績予想

もっと素敵な伝え方を。



(単位:百万円)

	平成25年3月期				
	通期予想	前年実績	増減比	1Q実績	差異
売上高	5,300	5,291	+0.1%	1,230	4,070
営業利益	250	219	+14.1%	50	200
経常利益	275	242	+13.6%	65	210
当期純利益	230	159	+44.6%	56	174

- ◆マーケット動向:スマホ対応(クロスデバイス)対応
- ◆ライブの需要を捉える体制拡充
- ◆オンデマンド関連サービスの増強

	平成24年3月期 2Q~4Q
売上高	4,135
営業利益	262
経常利益	276
当期純利益	212

# 説明内容についてのお問合せ先

**決算説明内容についてのお問い合わせは**

**【メール】**

**<http://www.stream.co.jp/contact/ir/privacy/>  
（お問い合わせフォーム）**

**【電話】**

**電話 03-5765-7744（総務部広報IR課）**

**よりお寄せください。**